

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	プログラミング教育交流サロン
事業主体 (連絡先)	CoderDojo 諏訪湖 電話：090-4161-0200 Eメール：coderdojo.suwako@gmail.com
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	889,495 円 (うち支援金： 667,000 円)

事業内容

製造業の盛んな諏訪地域のエンジニアによる地域の青少年育成のボランティア活動として、本事業を行いました。月1回程度、諏訪圏全域のプログラミングを志す子ども達が集まり、ScratchをはじめLEGOでのセンサー制御や中学生のUnityなどさまざまな取り組みが行われ、プロのエンジニアから直接指導を受けることができました。またさらに3回、諏訪湖遊覧船上で体験会を行い、上諏訪・下諏訪・岡谷港の児童にプログラミングを伝えました。参加者については不登校などの状況であっても分け隔てなく、学校外に新たな人間関係と自分の居場所を見つけていくことが可能となりました。



【プログラミング Ship 下諏訪港】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 計12回の開催で延べ165人の児童や、さまざまな指導エンジニア参加があり、子どもたちがScratchやmicro:bit他さまざまなプログラミングを学ぶことができました。
- ② 不登校の子ども達の保護者からも子ども達の前向きな活動のきっかけとなり大変好評を博しました。
- ③ 多くの地域からの参加者が交流し、大学生やシニアも含む地域間及び世代間交流を図ることができました。
- ④ 県外からも参加者があり観光につながりました。またTwitterで諏訪湖遊覧船の様子が動画配信され、世界中から高評価を得ました。

【目標・ねらい】

- ① 青少年のプログラミング習得
- ② 青少年の学校以外の居場所
- ③ 地域の世代間交流
- ④ 県外からの観光集客

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は開催場所を増やし、特に上諏訪駅周辺や原・富士見なども検討しながら、さらに参加人数を増やしていきたい。また内容としてさらに高度なプログラミングにもつなげていくこと、そのために諏訪東京理科大や岡谷工業高校、諏訪実業高校などの若い人たちも巻き込んで盛り上げていきたい。さらに宿泊観光向けのイベントとしても活用されるように取り組みたい。

※自己評価【B】

【理由】諏訪圏の青少年がプログラミングを通して成長できる空間として認知が広がり、機会と可能性を継続的に提供できたことは地域社会としてとても有意義であった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある